

# パルボシクリブ（商品名：イブランス）、アベマシクリブ（商品名：ページニオ）による治療を行なった進行再発乳癌患者に関する研究へのご協力について

兵庫県立がんセンター乳腺外科では、以下に該当される患者様を対象とした臨床研究（観察研究）を実施しております。

課題名：ホルモン受容体陽性 HER2 陰性進行再発乳癌患者に対する CDK4/6 阻害剤 逐次治療の検討

## ●対象となり得る患者様

2017年12月～2021年3月に当院においてパルボシクリブとアベマシクリブによる逐次治療を行なった進行再発乳癌治療中の方

※上記に該当される患者様のうち、一部の方が今回の研究の対象となり得ますが、全員が該当する訳ではありません

## ●今回の研究で利用する情報および試料

- ・カルテから抽出された、パルボシクリブ、アベマシクリブ開始前後の臨床的情報（採血データ、再発転移部位、治療期間、病気の進行が確認されるまでの期間、生存の有無など）

## <上記調査方法>

本研究は、過去のカルテなどの診療記録から得られる情報を用いて行います。  
そのため、今回の研究への登録において、新たにあなたに検査を受けてもらう等、ご負担をお願いすることはございません。

## <研究の意義・目的>

ホルモン受容体陽性 HER2 陰性進行再発乳癌患者さんにホルモン療法と CDK4/6 阻害剤を併用することにより、ホルモン療法単独に比べ有効性や奏効期間が延長し、生存期間も伸びることが臨床試験を通じてわかってきました。しかし、CDK4/6 阻害剤を使用中に癌が進行した際に次の治療薬として何を選択すれば良いかは未だ決まっていません。異なる CDK4/6 阻害剤の逐次投与もひとつの選択肢であり、今回の臨床研究では、当院で、CDK4/6 阻害剤であるパルボシクリブ（商品名：イブランス）を使用後に、もう一つの CDK4/6 阻害剤であるアベマシクリブ（商品名：ページニオ）を使用したホルモン受容体陽性 HER2 陰性進行再発乳癌患者さんの治療効果、有効期間、治療経過を検討しました。

この臨床研究の実施については、当院の倫理審査委員会で承認されています。お名前・住所などの個人情報が本研究で利用されることはなく、あなたのプライバシーは厳重に守られ一切公表されません。

本研究について、ご自身が本研究に登録されるかどうかについて確認されたい場合や、何か気がかりな点、より詳しくお聞きになりたい点などございましたら、下記相談窓口までお問い合わせ下さい。

本研究の登録対象に該当する場合であっても、ご自身の情報を用いての本研究への協力をご希望されない場合は、あなたの情報を本研究に用いることは致しません。

その際は、遠慮なく、「担当医」 又は 下記「連絡先窓口担当者」までご連絡ください。

2021年1月



兵庫県立がんセンター乳腺外科  
研究責任医師/連絡先窓口担当者  
高尾 信太郎  
TEL:078-929-1151 FAX:078-929-2380